

# 高等学校第1学年芸術科（音楽Ⅰ）学習指導案

指導者 石井 翔子

## 1 題材名 ギターの音色に耳を澄ましてみよう

## 2 題材の目標

ギターの音色の特徴を知覚し感じ取りながら、解釈したり価値を考えたりして、楽曲に対する理解を深めて鑑賞する。

## 3 題材設定の意図

高等学校学習指導要領解説芸術編（平成21年12月 文部科学省）第2章第1節音楽Ⅰの3内容には、B鑑賞ア「声や楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかかわりを感じ取って鑑賞すること。」とある。併せて、『「声や楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかかわりを感じ取」ることは、音楽の素材としての音そのものの質感をとらえることであり、音楽のよさや美しさなどを味わうための根幹をなすものと言える。』と示されている。

そこで、本題材では、生徒の関心が比較的高いギターの独奏曲を扱い、ギターの音色の特徴を知覚し感じ取ることに焦点を当てた聴き方をすることで、ギター音楽のよさや美しさに気付かせたい。

具体的な手立てとしては、ギターの音色の特徴を知覚し感じ取って聴いたことを、イメージする色や言葉で表現する活動をする。その上で、自分なりの価値をもって楽曲のCDジャケットをイラストやキャッチコピーで表わしたり、楽曲から感じ取ったよさや美しさを伝え合ったりする活動を通して、楽しく創造的に鑑賞する生徒を育てていきたい。

さらに、後期には表現領域の器楽の題材において、ギターアンサンブルの活動を行うため、本題材において、ギターの材質、形状、発音原理などの知識を習得し、ギターの音色を知覚し感じ取って鑑賞する能力を育てることで、器楽の表現活動に発展させていきたい。

## 4 教材について

### ○「愛のロマンス」（スペイン民謡）

原曲はスペイン民謡だが、映画「禁じられた遊び」において、ギター奏者ナルシソ・イエペスの演奏によって、一躍世界中に知れ渡った曲である。複雑に絡み合う音楽を形づくっている要素の中から、ギターの音色に焦点を当てて鑑賞させるためには、独奏曲がふさわしいと考える。また、楽曲の形式も一部形式（ABA）であり、A（ホ短調）とB（ホ長調）の音色の変化が理解しやすい上に、演奏時間も3分に満たない小品である。これらのことから、生徒が、ギターの音色の特徴に集中して鑑賞するのに適した楽曲である。

5 題材の評価規準及び学習活動における具体的評価規準

	ア 芸術への関心・意欲・態度	イ 芸術的な感受や表現の工夫	エ 鑑賞の能力
鑑賞	○	○	○
題材の評価規準	音色の特徴を知覚し感じ取って鑑賞することに関心をもっている。	音色の特徴を知覚し、それらが生み出す曲想のよさや美しさを感じ取っている。	音色の特徴を知覚し感じ取りながら、解釈したり価値を考えたりして、楽曲に対する理解を深めて鑑賞している。
学習活動における具体的評価規準	① ギターの音色の特徴に関心をもって聴き、一部形式のAとBのそれぞれの音色の特徴を色で表すことに意欲的である。 ② 自分なりの価値をもってイラストとキャッチフレーズを入れたCDジャケットを作成し、他者に伝えることに意欲的である。	① ギターの音色の特徴から感じ取ったことを、イメージする色で表し、その理由を同名調や形式などからあげ、自分なりの言葉で言い表したり書き表したりすることについて思いや意図をもっている。	① CDジャケットの作成を通して、ギターの音色の特徴を知覚し感じ取りながら、楽曲に対する理解を深め、自分なりの価値をもって味わって鑑賞している。

6 学習活動と評価の計画（2時間扱い）

時	ねらい	主な学習活動	具体的評価規準
第1時 (1)	○ギターの音色の特徴に注目し、関心をもって聴き取っている。	鑑賞曲「愛のロマンス」 ○音色に注目して聴きながら、知覚し感じ取ったことを色で表わし、理由を言葉で表す。	アー① イー①
第2時 (1) 本時	○ギターの音色の特徴を知覚し感じ取りながら、解釈したり価値を考えたりして、楽曲に対する理解を深めて鑑賞している。	鑑賞曲「愛のロマンス」 ○楽曲全体を鑑賞し、感じ取ったことを自分なりの価値をもってイラストとキャッチフレーズを入れたCDジャケットを作成し、他者に伝える。	アー② エー①

7 本時の学習 (第2時)

(1) ねらい

ギターの色音の特徴を知覚し感じ取りながら、解釈したり価値を考えたりして、楽曲に対する理解を深めて鑑賞する。

(2) 準備・資料 「愛のロマンス」のCD, 色紙, 形式を表す一覧表, 紙, はさみ, のり

(3) 学習の展開

時	学習内容と主な学習活動	教師の働きかけ
第 2 時	1 前時の学習を振り返る。	○生徒の意欲を向上させるため, 明るく友好的な雰囲気づくりをして生徒の自由な発言を引き出す。
	2 本時の学習内容を確認する。 「愛のロマンス」のCDジャケットをつくろう	○生徒が見通しをもって活動できるよう, 本時の授業の進め方, 活動内容を説明する。
	3 前時に感じ取ったイメージを基に, CDジャケットを作成する。 《必ず入れるもの》 ① タイトル ② アーティスト名 ③ イラスト ④ キャッチコピー	○生徒が感じ取った楽曲に対するイメージを尊重しながら, 自分なりの解釈や価値の根拠を重視する言葉かけを個別に行う。 ○CDジャケット作成中は, 楽曲を流しておくことで, 思いや意図をもって活動し, 楽曲に対する理解が深まるようにする。〈評価 アー②〉
	4 作品を鑑賞し合い, 自分なりの価値を伝え合う。	○早めに作品を完成させた生徒のCDジャケットを紹介し, イラストやキャッチコピーに込められた自分なりの価値を語らせ, 楽曲に対する理解が深まったことを認める。〈評価 エー①〉
	5 学習のまとめをする。	○本時の活動を振り返り, 後期に器楽でギターアンサンブルを行うことを伝え, 本題材で身に付けた鑑賞の能力を生かすように励ます。